
ネギ"ちゃり!
7
I-18


よおっ！久し振りっ！
ナ ナギ
お前…一体どこから入って
ぽろ
まぁまぁ イイじゃねぇか そんなの
お？ お前 スナックなんか食ってんだ？
全く…この男の所為でいっつもいつも
なっ！
ますます中身もガキらしくなってきたじゃん
ひょい
ぱく
それは…たまにイラつく時に…だな
そもそも


ドキ
ドキ
コイツ…なんだかんだ言っても…
わざわざこんな事しに来たのか?
ん? だって
お前を慰められんのオレだけだろ?
なっ


あ…
このっ私はっ！
くちゅっ
くっ
んっ
素直にしとけよーな？
ふる
ふる
あっ！
ぴくっ
ん
うん


ひ…っ
こ…の
バカッ！くすぐったい
あっ
きゃっ！
あっ
ひゃあっ♡♡
ほれ こんなに しやがって よく言うぜ
んあっ！
ナギッ！
だめっ
うっ！
いちいち 見せるなっ！


じゃあ いつものように してみろよ
ほら？
う
わかった わかったよ
わ
あぁっ
ナギの 早く く 下さい…
ムー
はーい 良く 出来ましたねェ
ぴ
とっ
あっ そんな いきなり
き 貴様っ あ♡
とろ…
ぱぁ
く
ぬ ぬ
ぬっ
ぷっ


あんっ
あっ♡
あっ
あ
ぷるるっ!
ひっ
くっ!
ぎゅぷっ
ぎゅぷっ
ぬっ
ぬっ
ぐぽっ
ぐぽ
あっ
ナギ♡
ナギ♡
ズッ
ズッ
ズッ
ぎちっ
ぎちっ
ぢゅぷ
くぅーっ
相変わらず
狭めぇな…


うあっ
あ♡
はあっ♡
この…
あまり気安く…
ひっ！あっ♡
触るなと言って
あっ♡
ひ♡
ああっ!ナナギ♡


一度乱れるとスゴィのなお前
そんなこと
はっ
あ——っ♡
あ——っ♡
キサマがっ
私をこんなっ
あ♡
ばかっ
あ♡
文句言うか腰振るかどっちかにしろよ
うっ
うるさいッ!
あ♡
ナギのバカッ!
あ♡
くうっ
はっ
そこっ
あ
あ


はっ
激しいっ
ナギっ
あ♡
ああっ♡
ナギ…
ナギィっ♡
お♡お♡お♡お——っ♡


そうだ
明日 目が覚めたら
言おう
ずっとずっと言おうと思っていたあの言葉

一緒に・いよう


目覚めると
ナギの姿は無く
ザァアァア
そして
二度と現れなかった

また…いやな夢を見た



何でもずっと
年取らねえって話だぜ
あ～…コイツに間違いねぇよ
けどよ 魔女にしちゃあ
可愛らしいんじゃねぇか
オイ…騙されんなよ
それが魔女の手口じゃ
ねぇのか？
全員で押さえちまえば
何も出来ねぇだろ？
刃物で殺しちまうのも
勿体無くねぇか？
あぁ…じゃあ
剥いちまおうか…



んっ…狭いガキだなぁ キツくってたまんねぇ…
お…オレ我慢できねぇ… 口入れるぜ!
小娘一人じゃ 俺達ニ回りすんのも 大変だなぁ
オイオイ… 全員犯るまで 壊すんじゃねぇぞ?



このままじゃ終わんねぇだろ後ろも使うか？
くっ…あぁっ キツいな
くぅっ！出すぜっ！
こっちもだ！尻に出すぜっ！
おおっ！


なぁ こういうの
神父様とか審問官様に
バレちゃ拙いよな…？
なぁに どうせ殺されちまう
ガキなんだ
最後ぐらい俺たちの
役に立ってもらっても
罰は当たんねぇよ
ここに行って
こんな…
いつまで
こんなことが
続くんだろう
明日になったら
村長のとこに
連れてっか
「一晩じゃ足りねぇ」
気もするけどな…
ガキの割にイイ反応
しやがってたしね…
やっぱ魔女なんだろうよ